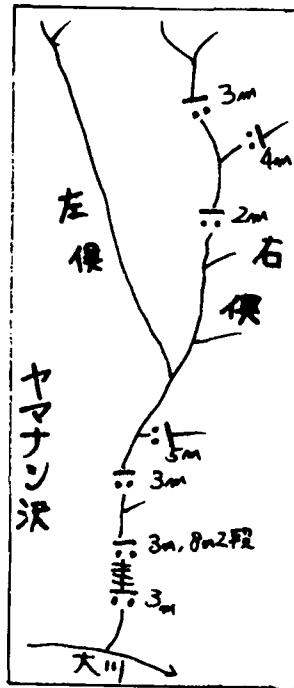


9時20分、二俣となる。左俣は伏流状となっている。
右俣に入る。左俣は帰りに下降予定である。

2mの滝を越えると、上部の二俣。我々は左に進み、
最後はヤブをこいで稜線に出る。(記・...郎)

[タイム] 出合(8:20)→左俣出合(9:20)→上部二俣(10:05)→稜線(11:00)



ヤマナシ沢左俣 1992年7月25日

ヤマナシ沢右俣の遡行を終え、稜線で小休止する。そのあとヤブをこいで左俣に下降するが、何もないうまま右俣との出合へ。ちょっと力がぬけた感じのまま大川本流まで下って下降終了とする。

(記・...郎)

[タイム] 下降開始(11:30)→右俣出合(12:00)→下降終了(12:30)

只見川中流域の沢

大鍋又沢支流古滝沢(仮称)上流部 1992年8月23日

Lp

林道終点近くから造林地の中の小沢ぞいに下り、古滝の上に出る。造林地の中は思ったよりヤブが深く、また沢に向けての小沢左岸の急斜面は途中からスラブとなってしまい、右岸側へザイルを使ってトラバースするなどの苦労があり、沢に下るまで50分もかかってしまった。

古滝より上部には、小さなナメが断続する。大きな滝はかからず、小滝ばかりで、樹林帯の中をゆるやかに流れている。30分程遡ると、5mの滝。古滝より上